

## 令和 6 年度事業報告

令和 6 年度では、当法人の新しい事業展開として、共同生活援助事業の実施を理事会・評議員会でご議決を賜りました。

共同生活援助事業の実施に伴い、定款を変更したほか、大森に拠点を設け、一部の土地を先行取得するとともに、事業用地について福島市の都市計画に開発審査会の実施を申請し、令和 7 年 3 月末に事前協議が終了したところです。

役員等の変更について申し上げます。

令和 7 年にはいりまして、古市前理事長の退任に伴い、新たに石原薫が理事長に就任したところです。それに伴い、石原信市郎理事が退任し、新たに加藤勇治理事が評議員会において選任されました。

地域貢献活動ですが、福島市より依頼を受け、就労準備支援事業に協力し実習生を受け入れました。

また、補装具の無償貸し出し、無料メンテナンスについては継続して実施いたしました。

研修事業ですが、共同生活援助事業の実施にむけ、職員一名を介護職員初任者研修に派遣するとともに、年間を通じオンデマンドによる各種研修に職員を参加させました。

補装具製作事業について申し上げます。

過去、開催された理事会・評議員会でもご報告申し上げたところですが、前年に引き続き、急激なインフレによる材料費の高騰に対し打開策を見出すことはできず、また、厚生労働省による製作基準があるため、利用者様に対し価格転嫁することもできず、収益を上げることができませんでした。

議案第 2 号で申し上げますが、補装具製作事業収入、施設整備等による収入、その他の活動による収入計は 1 億 9137 万 1055 円であり、支出計は 2 億 389 万 3212 円となり、資金収支差額は 1252 万 2157 円の支出超過で終了したところです。

以上